

## 「平成 30 年度 教育活動評価」集計結果について

### 1 教育活動評価の実施・回収状況

#### (1) 実施スケジュール

12 / 4 (火)	教育活動評価表 配付
12 / 17 (月)	教育活動評価表 回収締切
1 / 9 (水) ~ 1 / 15 (火)	教育活動評価 結果検討 (各学部・校務分掌)
1 / 28 (月)	教育活動評価 結果報告及び総括 (職員会議)
1 / 31 (木) ~ 2 / 8 (金)	次年度教育課程編成と計画立案 (各学部・校務分掌)
2 / 8 (金) ~ 2 / 18 (月)	次年度教育課程編成の改善・調整 (教育課程検討委員会・職員会議)
2 / 25 (月)	教育活動評価 結果報告及び総括 (学校評価委員会)
3 / 8 (金)	教育活動評価 結果報告 (保護者)

#### (2) 回収状況

保護者 59 / 59 名 (回収率 100%) ※ 昨年度回収率 91.5% (8.5%増)

### 2 集計結果の分析の視点

3年間 (平成 28~30 年度) の数値の変化から、項目ごとに分析・検討しました。

### 3 「教育活動評価集計結果」(保護者)について

○ 3年連続して「Aグループ」に属するもの…4項目

個別プラン(3) 主体的に取り組める教育活動(6) (H29までは「楽しい教育活動」)  
保健指導・食育(8) 指導内容・指導方針(12)

○ 3年連続して「A-グループ」に属するもの…0項目

○ 3年間で「A-・B・Cグループ」から「Aグループ」に上昇したもの…4項目

子どもの成就感(1) 【B→A→A】 社会自立・教育支援(5) 【B→B→A】  
教育情報(13) 【A→B→A】 プライバシーの配慮(14) 【B→A→A】

○ 3年間で「B・Cグループ」から「A-グループ」に上昇したもの…1項目

育友会活動(15) 【A→B→A-】

● 3年間で「Aグループ」から「A-・B・Cグループ」に下降したもの…5項目

満足度(2) 【B→A→A-】 興味・関心に基づく学習(4) 【B→A→B】  
安全・事故防止(7) 【A→A→B】 進路相談・進路情報(9) 【A→A→B】  
教育相談(10) 【B→A→B】

● 3年間で「A-グループ」から「B・Cグループ」に下降したもの…0項目

● 3年間とも「B・Cグループ」に属するもの…0項目

### 【分析・考察】

全体として、「個別プラン(3)」「主体的に取り組める教育活動(6)（～H29「楽しい教育活動」）」「保健指導・食育(8)」「指導内容・指導方針(12)の項目において、連続して概ね良い評価をいただきました。一方、昨年度Aグループだったが評価が下降しているものが5項目あります。

#### (1) 教育活動全般

○ 「子どもの成就感(1)」【B→A→A】

・ 保護者と子どもの姿を共有し、子どもが成就感を得られるような学校生活となるように教育内容や支援などを工夫していきます。

○ 「満足度(2)」【B→A→A<sup>-</sup>】

・ 「よくあてはまる」の割合が減少しました。保護者の方の思いを受け止めていく相談体制と教育実践が必要です。

#### (2) 教育課程・生活教育

○ 「個別プラン(3)」【A→A→A】

・ 本校独自の「個別プラン」が個別の教育支援計画、個別の指導計画として機能していると思われまます。今後も学部案内や日々の連絡帳などで学部等の目標や活動の様子、個々の子どもの姿などを伝えるようにしていきたいと思ひます。

○ 「興味・関心に基づく学習(4)」【B→A→B】

・ お子様の教育的ニーズに基づいて、適切な支援、個性を伸ばす学習を行うことに努めます。

○ 「社会自立・教育支援(5)」【B→B→A】

・ 引き続き保護者の皆様のお子様への成長・発達に対する御期待に応えることのできるような教育実践を進めていきます。さらに、保護者の皆様とお子様の成長・発達段階を共有し、特性に応じた分かりやすい支援に努めます。

○ 「主体的に取り組める教育活動(6)」【A→A→A】

・ 今後もお子様が主体的に取り組めるような教育活動を推進していきます。

#### (3) 生徒指導・保健指導

○ 「安全・事故防止(7)」【A→B→B】

・ 安全点検の実施などによる施設設備などの整備は今後も継続していきます。避難訓練などの全校での取組をお伝えすると共に、個々のお子様に応じた適切な支援も行っていきます。

○ 「保健指導・食育(8)」【A→A→A】

・ 「よくあてはまる」の割合は減ったが、「あまりあてはまらない」の回答はなく、好評価をいただきました。今後も保健指導・学習についてのお便り、食事指導における御家庭との連携などについて継続していきます。

#### (4) 進路指導・キャリア教育

○ 「進路相談・進路情報(9)」【A→A→B】

・ 小学部段階からの理解、啓発が課題となっています。「進路指導＝教育活動」といった視点で、普段の取組と進路の結びつきについての理解・啓発を一層進めていきます。

#### (5) 教育相談・センター的機能

○ 「教育相談(10)」【B→A→B】

・ 個別教育相談会の設定を年間5回、教育相談部主催の個別面談（希望された保護者の方）を実施すると共に、必要に応じて面談などを行うケースがありました。今後も、年間を通して計画的に教育相談を行い、丁寧に対応してまいります。また、個別に対応する体制について分かりやすくお伝えし、活用しやすい相談体制となるようにします。

#### (6) 地域交流・インクルーシブ教育

##### ○「地域交流(11)」【A】

- ・今年度より設定した項目です。居住地校交流等の意義やねらい、内容などについて保護者の皆様や相手校に丁寧にお伝えし、地域に開かれた教育活動の実践に努めます。

#### (7) 家庭との連携

##### ○「指導内容・指導方針(12)」【A→A→A】

- ・本校独自の「個別プラン」が保護者との連携・協働のツールとして積極的に活用されていると考えられます。今後も保護者の方やお子様とともに作成し、実践する中で内容を見直し、よりお子様のニーズに応じた教育内容、支援となるように努めます。

##### ○「教育情報(13)」【A→B→A】

- ・ホームページを見直し、計画的な通信等の発行、日々の連絡帳、大学のフェイスブック、マスメディア（テレビ、新聞）等で積極的に教育情報を公開しました。今後も積極的に教育情報を公開し、保護者の皆様との共通理解を図るようにします。

##### ○「プライバシーの配慮(14)」【B→A→A】

- ・教育実践や研究上、個人情報公開や共有について、一定の御理解をいただけていることに感謝します。今後も相互理解を図りながらプライバシーに配慮していきます。

##### ○「育友会活動(15)」【A→B→A~】

- ・育友会会長を中心として、保護者の皆様が協力し、活発な運営がなされていました。様々な事業の中で新たな工夫を加えた企画が多く出されました。教員の参加も継続していきます。

#### 4 学校評価委員会での御意見

この集計結果及び改善の方向性は、2月25日（月）に開催されました「学校評価委員会」に提出し、委員の方々から、本校の教育活動に対する取組姿勢に関して、様々な視点から下記のような御意見をいただきました。

- ・スクールプランについて、保護者の方と学校とがよりよい意思疎通を図っていくために、さらに具体的で分かりやすい内容にし、保護者の方に伝えていくことが必要である。
- ・質問項目を減らし、保護者の方が答えやすいものに見直すことよい。
- ・個別プランは保護者の方が直接作成に携わり、児童生徒の成長の道筋が見えるものとして必要なツールであるが、保護者への説明はより丁寧にしていく必要がある。
- ・学部間の連携が円滑になり、社会に開かれた教育活動が多くなってきている。
- ・本校の活動の意義について、外部にさらに分かりやすく、丁寧に伝えていく努力が必要である。

今後、保護者の皆様や学校評価委員会の方々からいただきました御意見を参考に、お子様の心身の健やかな成長・発達のため、教職員一同、教育活動のより一層の充実を目指して邁進していきます。今後とも、本校の教育に一層の御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。